

バスケットボール戦評記入用紙

大会 (新人 関東 インターハイ)
 試合 (決勝・準決勝 準々決勝・決勝リーグ)
 日時 5月15日 金曜日 第 2 試合 時刻 11:30
 記入者名 祐木 毅

A チーム	得点		得点	B チーム
<u>正智深谷</u>	<u>95</u>	(<u>56</u>	<u>浦和 高校</u>

戦評

第1P、出だしは正智マンツーマンディフェンス、浦和3-2ゾーンディフェンスでスタートする。先手を取ったのは正智。スピード感のある攻撃でパスをつなぎ、#9の3Pシュートなどで得点をしリードする。対する浦和も#4のゴール下のシュートで追い上げる。しかし正智は#9カリバウンドシュートをねじ込み、#4、#6の3Pシュートで浦和の追従を許さない。浦和はエース#7のジャンプシュートが決まり出し6点差に詰める。

第2P、互角の戦いになる。正智は浦和の高さに攻めあぐむ場面が見られたが、#10のジャンプシュートがバスケットカウントとなり、リードを保つ。浦和も#7の3Pシュートが決まりリズムを掴みかける。#18を投入し、さらに大型化した3-2ゾーンをしくが、正智も#4、#9が3Pシュートを決め、流れを渡さない。第2P終盤、浦和は積極的に攻めるもののシュートを決めきることができない。正智が10点リードで前半を折り返す。

第3P、正智は前半好調だった浦和#7にぴったりマークし得点を許さない。持ち前の激しいディフェンスから速攻に展じ、#5、#9がレイアップシュートを決め点差を広げる。浦和はたまらずタイムアウトをとる。しかし流れは変わらず、正智#4、#9が速攻からレイアップシュート決めさらに点差を縮める。対する浦和はセンターの#4にパスをつなぎ何とか得点するが流れを変えることはできない。

第4P、点差を詰めた浦和であるが、#7を徹底的にマークされ得点できない。何とかインサイドにボールをつなぎ、#18が得点するが、正智の勢いは止められない。浦和も最後まで諦めずに粘るが、結局正智が勝利し、準決勝に駒を進めると共に関東大会の出場権を得た。